

Staging of gastric cancer with the Clinical Stage Prediction score

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-07-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 谷口, 清章 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032828

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3100 号	氏 名	谷 口 清 章
審 査 委 員 会	主 査 教 授	神 崎 正 人	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>Ⅲ・Ⅳ期胃癌症例では化学療法、Ⅰ・Ⅱ期胃癌は外科治療となる。既存の臨床診断は病理診断と比較し胃癌の病期は正診率が低く、問題視されている。本研究では、治療前の臨床診断因子から胃癌の病期の客観的な鑑別を可能とすべく、過去 20 年間に施行した胃切除例 2722 例を対象に、年齢、性別、腫瘍マーカー、腫瘍径、占拠部位、組織型、肉眼型を臨床診断因子として統計学的に有意差を認めた予測臨床因子(CEA、腫瘍径 60 mm 以上、全周、食道浸潤、粘液癌、肉眼型 2～4 型がⅢ・Ⅳ期関連性の因子)から Clinical Stage Predicting score (CSP score)を作成し、妥当性を検討している。CSP score より ROC 曲線を作成し、Cut off 値を 17 点とし、17 点以上の約 8 割をⅢ・Ⅳ期の胃癌が占めていた。CSP score は胃癌術前臨床診断の正診率に寄与し、治療方針を決定する上で客観的な鑑別を可能とした重要な知見となった。以上より学位を与えるのに十分な技術、学識、論理的思考能力を有していると判断する。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			